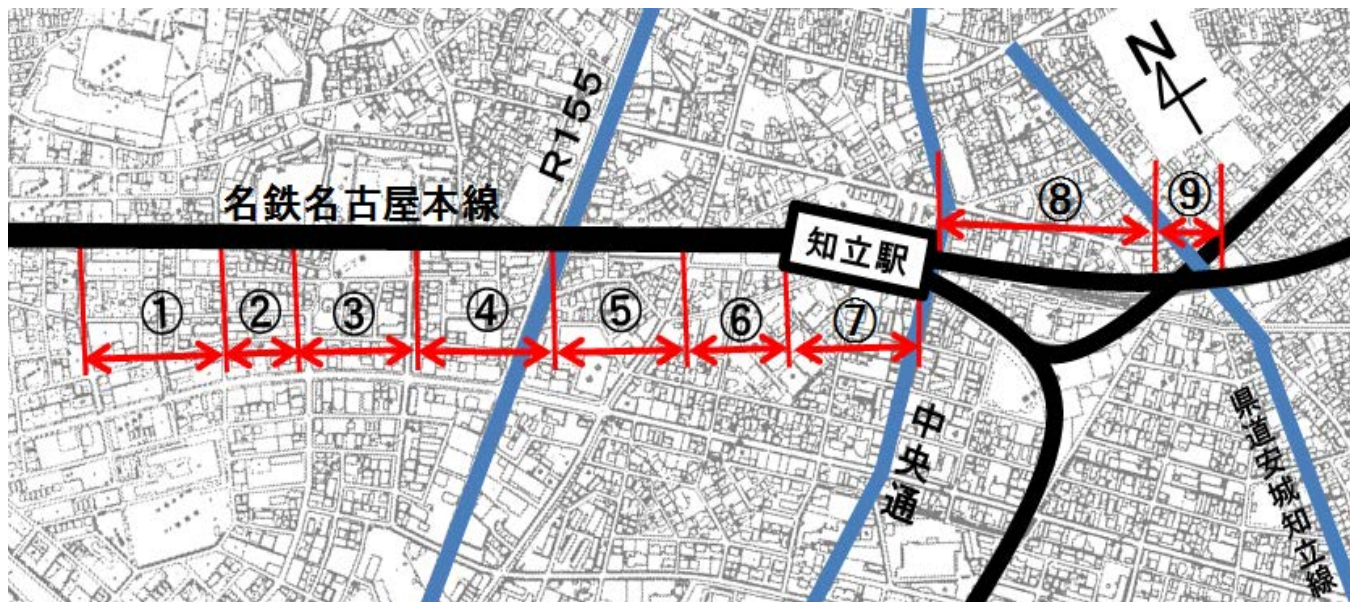


鉄道高架事業の仮線工事が発注されました

鉄道高架事業における名古屋本線の仮線工事が発注されました。複数の工区に分け、これから工事が進められていきます。市民の皆様には工事期間中にご迷惑をおかけしますが、事業へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



仮線工事の工区割り

①	仮線土木（その2）工事	(株)近藤組	<ul style="list-style-type: none"> 仮線の軌道や電気設備の設置に向け、整地や盛土など仮線基盤の整備工事を行います。 国道155号との交差部には、仮橋の設置工事を行います。 名鉄名古屋本線と三河線及び県道安城知立線との交差部には、仮高架橋を設置する工事を行います。 知立駅部では、仮線時に使用するホームの設置工事を行います。
②	仮線土木（その3）工事	中一建設工業(株)	
③	仮線土木（その4）工事	関興業(株)	
④	仮線土木（その5）工事	(株)丸久尾崎組	
⑤	仮線土木（国道155号線仮架道橋）工事	西松建設(株)	
⑥	仮線土木（その6）工事	(有)山中組	
⑦	仮線土木（仮線ホームその1）工事	矢作建設工業(株)	
⑧	仮線土木（その1）工事	(株)奥村組	
⑨	仮線土木（仮高架橋）工事	矢作建設工業(株)	

「三河知立駅移設について」 知立市長 林 郁夫

知立市では、現在、『安全で安心できるまちづくり』として、防災防犯交通安全対策の着実な実施、また、『全ての人に優しいまちづくり』として、子ども条例の制定を始めとした子ども支援や、高齢社会に向けての健康増進を中心とした高齢者施策など、皆様方にご理解いただきながら、着実に諸施策を推進しています。

そうした中、それらの施策と共に、『活気ある知立づくり』のひとつの施策として、『知立駅周辺整備事業』を行なっており、少しずつ知立駅周辺も変わってきているところです。

—昨年、知立市は転入率（分母が全人口で、分子が転入者）が、7.1%ということで、愛知県でナンバー1 でありました。

また、平成 39 年には、リニア中央新幹線が開通し、東京名古屋間が約 40 分、知立から東京まで 1 時間強（現在知立駅から名古屋駅まで約 20 分）で行く事ができるようになるなど、今後、益々、知立への期待が大きくなっていくところであり、知立市の将来のため、また、より良い知立を次の世代に引き継いでいくためにも、この事業の着実な実施を図っていくことが大事であると考えています。

しかしながら、一方で、こうした大型事業は、大きな財政負担も伴うことから、可能な限り、コスト縮減が図られるよう、推進してきているところでもあります。

そうした中、三河知立駅移設につきましても、『駅を移設することによって、コスト縮減を図ることができないか』という視点で、永きに渡って、愛知県、名鉄、そして、知立市と検討してきたところでありまして、『現在、高架駅で計画されています三河知立駅を移設し、平面駅にすることで、コスト縮減が図られる』という検討結果を得ることが出来ました。

コストの縮減額については、全体事業費からすれば、必ずしも、大きくない額ではありますが、一方で、現在の三河知立駅は、知立駅から約 500m の至近距離にあることから、『現在の三河知立駅の位置はもったいない。もっと、駅の利便性を発揮できる場所へ移転したらどうか』との声もたびたび聞かれていたところでもあります。こうしたことから、知立市としては、今回の移設案については、『コスト縮減が図られ』、併せて、『駅を利用できる地域が更に広がる』ことなどから、議会、また、関係地域の皆様方への説明をさせていただきながら、現在、移設の方向で進めているところでもありますので、ご報告申し上げます。

今後とも、他の大切な予算にも影響を及ぼすことの無いよう、また、未来に禍根を残すことの無いよう、誠実に着実に進めてまいりますので、ご理解よろしくお願い致します。



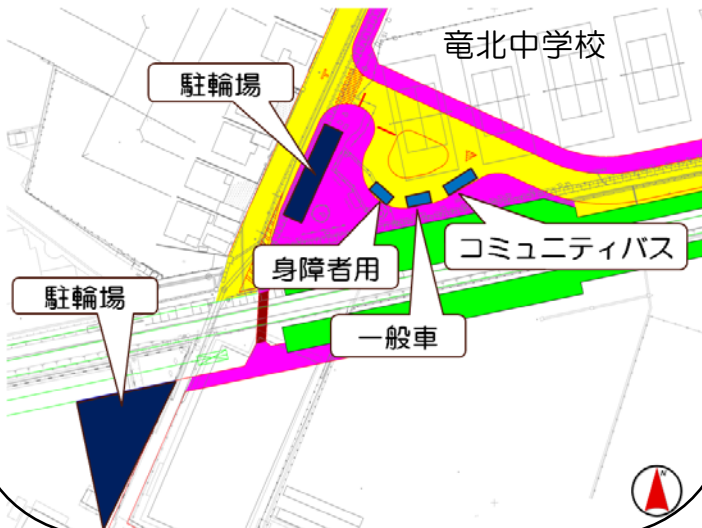
三河知立駅を移設する方向で進めていきます

鉄道高架事業では、三河知立駅の移設について事業費への影響や、周辺のまちづくりなどの面から検討してきました。昨年の9月と12月に説明会を開催し、住民の皆様からたくさんのご質問・ご意見を頂きました。知立市のコスト縮減が図られ、そのほかにも期待される効果が考えられることから、駅の移設を進めていきたいと考えます。今後は都市計画変更の手続きなどを行っていく予定です。

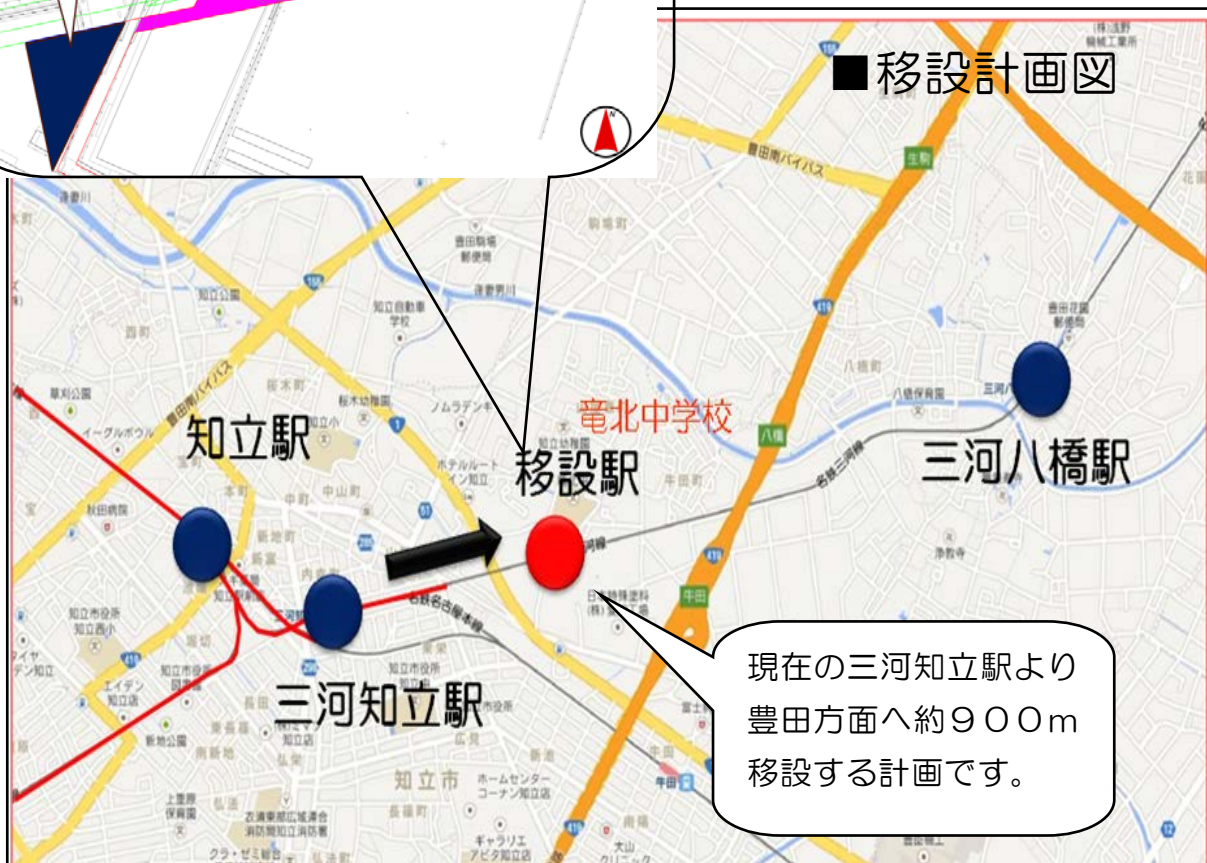


説明会の様子
(平成25年9月 竜北中学校体育館にて)

駅の移設にあわせて駅前広場等を整備していきます。



説明会の様子
(平成25年12月 新地公民館にて)



現在の三河知立駅より豊田方面へ約900m移設する計画です。

知立駅周辺土地区画整理事業の事業計画変更のお知らせ

知立駅周辺土地区画整理事業の事業計画を下記の通り変更しましたのでお知らせします。

①事業期間の延伸

連続立体交差事業の工程進捗に合わせ、事業期間を平成27年度から**平成38年度**まで延伸します。



②資金計画の変更

事業費を197億円から**210億円**に変更します。変更の主な内容は、南北線や駅前広場のグレードアップ整備費、電線共同溝費等に関する公共施設整備費及び、年度延伸による事務費等になります。

③区画整理設計の変更

交通安全対策を図るため、栄線（南北線との交差点）に右折帯を設置し、歩行者専用道路の幅員を変更します。

平成25年度末事業進捗状況

平成25年度につきましては関係の皆様のご協力により18件の建物移転を実施し、併せて区画道路の整備および移転先の整地工事を進めました。

- ★建物移転戸数：
57% (141件/249件)
- ★区画道路整備延長
30% (531m/1,781m)



舗装工事
(区画道路8-2号)



道路築造工事
(区画道路12-1号線)

今後も区画整理事業の着実な進捗に向けて努めてまいりますので、引き続き事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

知立市都市整備部都市開発課鉄道高架係
(知立連続立体交差事業促進期成同盟会事務局)

TEL 0566 - 85 - 5882

FAX 0566 - 82 - 5775

E-mail tosikaihatu@city.chiryu.lg.jp